

令和7年度 定期総会資料

福岡県半導体・デジタル産業振興会議

Fukuoka Prefectural Semiconductor & Digital Industry Development Council



第1号議案 役員選任(案)

第2号議案 令和6年度事業報告

第3号議案 令和7年度事業計画(案)

第1号議案 役員選任(案)

役員選任(案)

福岡県半導体・デジタル産業振興会議規約第8条第2項に基づき、役員を選任を諮るもの。

役員名	氏名	企業・団体名	役職	新・留
会長	津田 純嗣	(株)安川電機	特別顧問	留任
副会長	<u>内田 誠一</u>	<u>九州大学</u>	<u>理事・副学長</u>	新任
副会長	中藤 良久	九州工業大学	理事・副学長	留任
副会長	高西 淳夫	早稲田大学	教授	留任
監事	永吉 豊	(株)久留米リサーチ・パーク	常務取締役	留任
監事	間野 彰彦	(公財)飯塚研究開発機構	専務理事	留任

第2号議案 令和6年度事業報告

福岡県半導体・デジタル産業振興会議

【会長】 **YASKAWA** 安川電機

特別顧問 津田 純嗣

【顧問】 文部科学省科学技術・学術政策局長

九州経済産業局長

福岡県知事、北九州市長、福岡市長



津田会長



服部福岡県知事



武内北九州市長



高島福岡市長

【設立】 令和4年6月2日

【会員数】 1,254会員(令和7年6月末現在)

振興会議の目的に賛同する企業、

大学、行政、個人

全国トップクラス
1,254の産学官の会員
プラットフォーム



半導体産業(グリーンデバイス)の振興

- カーボンニュートラル時代の製造業を支える半導体デバイスである「グリーンデバイス」の一大開発・生産拠点の構築を目指す。

【グリーンデバイス】

省エネルギーに直結するパワー半導体および関連製品、低消費電力化(高速処理・効率処理)を実現する各種半導体および関連製品 など



デジタル産業の振興

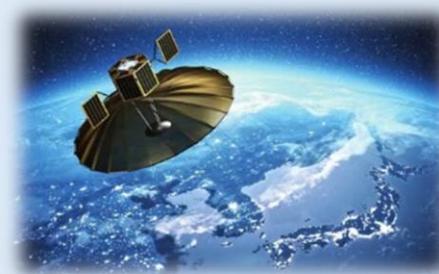
- ロボット、IoT、デジタル化システムや宇宙ビジネスを振興し、新たなニーズに対応した新産業の創出を目指す。



ロボット



IoT



宇宙ビジネス

令和6年度 講演会・交流会

- 日程 : 令和6年8月20日(火)
- 場所 : ホテルニューオータニ博多
- 内容 :
 - ・基調講演「次世代半導体と最先端実装技術の展望」
インテル株式会社 代表取締役会長 鈴木 国正 氏
 - ・特別講演「三次元実装技術の可能性と人材育成」
福岡半導体リスキリングセンター センター長 黒田 忠広 氏
 - ・両者によるトークセッション
 - ・出席者による交流会 等
- 参加者 : 250名



▲ 基調講演



▲ トークセッション



▲ 交流会の様子

I 地元企業のサプライチェーンの強化

- ① 「三次元半導体研究センター」の機能強化
- ② 半導体アドバイザーリーボードの設置
- ③ インキュベーションルームの提供
- ④ 福岡県IoT認定制度
- ⑤ 半導体取引拡大アドバイザーの設置
- ⑥ 国内外の大手企業への出張技術提案会の開催
- ⑦ グリーンデバイス関連製品開発支援事業
- ⑧ 国内外の大型展示会への出展支援
- ⑨ [九州]半導体産業展での関連イベントの開催
- ⑩ SWTest Asia 2024での関連イベントの開催

II 人材の育成・確保

- ① 「福岡半導体リスキリングセンター」における人材育成
- ② 大学と連携した半導体中核人材の育成
- ③ 「福岡テクノロジー人材創生塾」の実施
- ④ 「ガールズテックプログラム」の実施

III 企業誘致の強化

- ① 企業誘致の促進
- ② 新たな産業団地の整備

I 地元企業のサプライチェーンの強化

① 「三次元半導体研究センター」の機能強化（※振興会議予算とは別予算にて実施）

- 世界的な注目技術である三次元実装をターゲットに、九州はもとより全国の企業に高度な研究開発環境を提供。

開設時期 2011年3月開設

特 色 半導体の実装分野で、設計から試作、評価・解析までを一貫して支援する国内唯一の公的機関。

利用状況 九州を中心に全国の半導体材料メーカー等が利用。
企業の実装技術の高度化を支援。

支援件数 約270社、延べ約4,400件



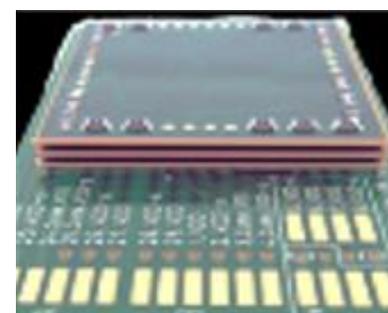
三次元半導体研究センター



試作設備



評価・解析設備



試作品の例

I 地元企業のサプライチェーンの強化

① 「三次元半導体研究センター」の機能強化（※振興会議予算とは別予算にて実施）

■ 研究開発機能の強化

- ・ 企業版ふるさと納税及びクラウドファンディング型ふるさと納税を活用して、同センターに最先端機器を導入するとともに、人員体制を増強

[寄附実績額(令和6年度)] 1億1,427万5千円

■ 最先端実装に関する研究会の開催

- ・ 最先端実装に取り組む企業が組織の枠を超えて技術的課題の解決を図る研究会を開催

[開催実績] 第1回:R6.11.20

第2回:R7.2.13(デバイス実装研究会との共催)

第3回:R7.3.18

② 半導体アドバイザリーボードの設置

■ 業界動向に精通した有識者を招聘し、半導体振興プロジェクトに対して助言

- ・ 井上 弘基 氏（機械振興協会 経済研究所 特任フェロー）
- ・ 岡野 秀之 氏（九州経済調査協会 常務理事 兼 事業開発部長）
- ・ 西澤 伸一 氏（九州大学 応用力学研究所 教授）



▲研究開発支援



▲研究会の様子

I 地元企業のサプライチェーンの強化

③ インキュベーションルームの提供

- ベンチャー企業のスタートアップ、進出企業の受け皿、産学官連携共同研究の場として、インキュベーションルームや研究開発ラボ室等を提供

産業技術イノベーションセンター (福岡市早良区)

- ・インキュベーションルーム(全55室)
- ・シェアードオフィス(全20ブース)



社会システム実証センター (糸島市)

- ・共同開発ラボ室(全26室)
- ・シェアードオフィス(全7ブース)



三次元半導体研究センター (糸島市)

- ・インキュベーションルーム(全3室)



④ 福岡県IoT認定制度

- 県内企業が開発した優れたIoT関連製品・サービスを認定“県のお墨付き”を与えることで、ビジネス展開を支援
- 令和7年4月末現在で、累計78製品を認定



福岡県IoT認定製品

認定ロゴマーク

I 地元企業のサプライチェーンの強化

⑤ 半導体取引拡大アドバイザーの設置

- 地元企業の競争力向上を図るため、新規参入・新分野参入を支援するとともに、県内外企業とのマッチングや技術力向上を支援するアドバイザーを設置



▲半導体取引拡大アドバイザー
(三宅 賢治 氏、中村 健二 氏ほか)

⑥ 国内外の大手企業への出張技術提案会の開催

- 国内外の大手企業を訪問し、県内企業の製品、サービス、技術等を直接PR
〔開催実績〕 台湾にて商談会を実施(令和6年10月、12月)

⑦ グリーンデバイス関連製品開発支援事業

- 県内企業のグリーンデバイスに関する新製品開発等に必要な費用を助成
〔補助上限〕 可能性試験:200万円、製品開発支援:500万円 〔補助率〕 1/2

R6主な採択テーマ	採択企業
パワー半導体製造工程での環境負荷低減を目的としたプラズマ処理による銅酸化膜除去方法及び装置の開発	KNE株式会社
パワー半導体ウエハ向け革新的厚膜銅めっき技術の実用化	アスカコーポレーション株式会社
パワーマネジメント用IC向けツェナーダイオードの開発	日清紡マイクロデバイス福岡株式会社

ほか3件

I 地元企業のサプライチェーンの強化

⑧ 国内外の大型展示会への出展支援

- 県内企業と国内外の大型展示会へ出展、新たなビジネス展開を支援

⑨ [九州]半導体産業展での関連イベントの開催

- 九州初の半導体に特化した大型展示会において、県主催のフォーラム実施や、県内企業のブース出展(中小企業振興センターと合同出展)

⑩ SWTest Asia 2024での関連イベントの開催

- 半導体ウェハ検査の国際カンファレンスが福岡県で開催(台湾以外で初開催)
国内外企業等が来福する機会を捉え、県内企業のブース出展や交流会を実施



セミコン台湾での福岡県ブース

イベント名	開催期間	場 所	出展数(企業+公的機関等)
セミコン台湾2024	令和6年9月4日~6日	TaiNEX(台北市)	4社+1機関
[九州]半導体産業展	令和6年9月25日~26日	マリンメッセ福岡	27社+5機関
IoT・エッジコンピューティング EXPO	令和6年10月23日~25日	幕張メッセ	2社
SWTest Asia 2024	令和6年10月24日~25日	ヒルトン福岡シーホーク	6社+4機関
セミコンジャパン2024	令和6年12月11日~13日	東京ビッグサイト	4社+4機関

Ⅱ 人材の育成・確保

① 「福岡半導体リスティングセンター」における人材育成 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- システム開発技術カレッジで培った「人材育成に関する取組・ノウハウ」を継承し、半導体分野やデジタル産業分野の重要技術に精通した人材を育成

開設日 2023年8月23日

センター長 東京大学 黒田忠広特別教授

講座内容 若手技術者からトップエンジニアまで幅広い人材を育成

[作る側] 半導体の設計、製造、テスト、装置など生産工程別の講座

[使う側] 自動車分野や組込み分野など、半導体を使うために必要な基盤技術を学べる講座



5年間で25,000人の半導体人材を育成!

R7年6月末時点
受講者数12,114人

ふくおかIST 「システム開発技術カレッジ」

- ・産学官による有機的な連携のもと、全国から大学教授や企業技術者を講師として招聘し、半導体技術者向け講座を提供
- ・2001年の開講から22年間で、約25,000人の技術者を育成
- ・2019年には、「ものづくり日本大賞」の最高位である経済産業大臣賞を受賞



Ⅱ 人材の育成・確保

② 大学と連携した半導体中核人材の育成 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- 九州工業大学マイクロ化総合技術センターと連携し、大学の実機を使った実習講座を実施することで、設計から製造、評価までを一貫して見渡せる半導体中核人材を育成
[参加実績]34名(開催日:令和7年3月12日~14日)

③ 「福岡テクノロジー人材創生塾」の実施 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- 中高生を対象に半導体をテーマに関連企業等の技術や将来性を学ぶ体験型ワークショップを実施し、技術者を目指す人材を創出
[参加実績(半導体コース)] 中学生40名、高校生43名



▲福岡テクノロジー人材創生塾

④ 「ガールズテックプログラム」の実施 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- 女性エンジニアにフォーカスを当てたPR動画を制作し、キャリア教育で活用するほか、女子中高生等を対象にした職場見学会を実施
[実績] PR動画再生回数 : 約34万回再生
職場見学会参加数 : 8校 1,086名



▲職場見学会の様子

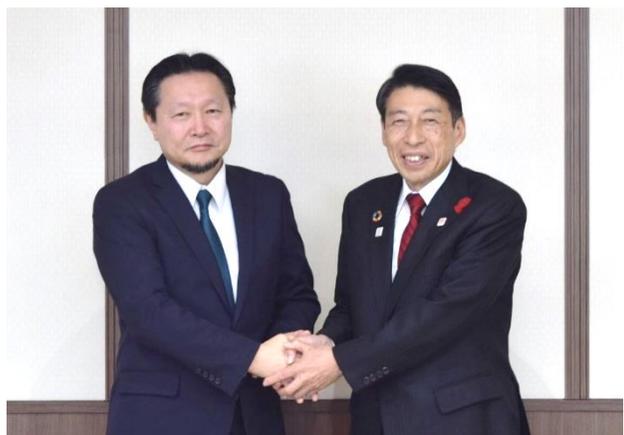
Ⅲ 企業誘致の強化

① 企業誘致の促進 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- グリーンアジア国際戦略総合特区を活用し、税制優遇や企業立地促進交付金の交付率上乘せ等を実施
- 企業立地促進交付金に半導体製造関連の特例枠を設け、交付率及び交付限度額の上限を引上げ

② 新たな産業団地の整備 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- 令和4年度～令和8年度の5年間で約100haの新たな産業用地の整備に着手
(整備着手面積の現状値:78.6ha(令和5年度末時点))



▲「株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン」が国内初の研究開発拠点を開設



▲「益芯科SSB株式会社」が設立し、産業技術イノベーションセンターに入居



▲「東京エレクトロン九州株式会社」がソフトウェア開発拠点を開設

デジタル産業の振興

【トピック】

宇宙ビジネス振興の取組について

宇宙ビジネスにおける福岡県のポテンシャル

■ 株式会社QPS研究所の小型SAR衛星プロジェクト

- ① 小型・低コスト
- ② 天候・昼夜不問で観測可能
- ③ 高精細な地表画像データ
※世界最高水準の分解能46cm
- ④ 県内中小ものづくり企業
17社が参画



▲分解能46cmの画像取得

R9年度までに24機、最終的に36機の
衛星コンステレーションによる
「準リアルタイムデータ提供サービス」を目指す

産



▲QPS研究所の衛星開発に関わった福岡県内の17社

■ 産・学・官の取組

官

- 「宇宙ビジネス創出推進自治体」に選定(R2年度)
- 「福岡県宇宙ビジネス研究会」の発足(R2年度)
 - ・本県の宇宙ビジネス振興の中核となる産学官によるプラットフォーム (会員数411)

学

- 九州大学
宇宙工学の知と人材の拠点
QPS研究所を輩出
- 九州工業大学(革新的宇宙利用実証ラボラトリー)
国内唯一 耐宇宙環境技術の研究開発拠点
- 久留米工業大学
「航空宇宙実習棟」を有するモビリティ研究機関

⇒ 産・学・官の連携により、宇宙ビジネス参入とビジネス創出を加速

宇宙ビジネスの取組体系

I 啓発・参入促進

- ① 福岡県宇宙ビジネスフォーラムの開催

II 新製品・サービスの創出

- ① 製品開発支援
(宇宙関連機器(研究開発・高性能化等)、衛星データ利活用、宇宙日本食開発)
- ② 宇宙日本食開発・認証アドバイザーの設置
- ③ 県内宇宙ビジネスの実態調査

III ビジネス拡大支援

- ① 大型展示会への出展
- ② ビジネスマッチングイベントの開催

I 啓発・参入促進

① 福岡県宇宙ビジネスフォーラムの開催

【開催日：令和7年3月3日(月)】

- 若田宇宙飛行士による基調講演のほか、衣食住など裾野が広い宇宙ビジネスで活躍する企業のトークセッション等を実施



▲ 若田宇宙飛行士による基調講演



▲ 企業によるトークセッションや宇宙関連製品の展示



「福岡テクノロジー人材創成塾」の実施 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- 中高生を対象に企業等の技術や将来性を学ぶ体験型ワークショップを実施
R6年度から新たに宇宙コースを創設し、技術者を目指す人材を創出
[参加実績(宇宙コース)] 中学生38名、高校生53名

II 新製品・サービスの創出

① 製品開発支援

○ 宇宙関連機器研究開発支援事業

- 県内企業が行うロケット、人工衛星等の宇宙関連機器に係る研究開発に対する経費を助成
〔補助上限〕700万円 〔補助率〕1/2

採択テーマ	採択企業	共同研究機関
宇宙用機材として注目される低熱膨張性合金へのめっき技術の開発	(株)九州電化	—

○ 先進的宇宙関連機器開発加速化支援事業

- 宇宙機器の軽量化・高性能化・生産拡大に対する経費を助成
〔補助上限〕1,000万円 〔補助率〕1/2

採択テーマ	採択企業	共同研究機関
月面探査・映像データ通信を32倍高速化する宇宙通信半導体(IP)の開発	ギガファーム(株)	九州工業大学
マイクロ波遮断のためのハイブリッド電磁波シールドめっきの開発	(株)九州電化	—
小型 SAR 衛星の量産・高品質化に向けた精密加工部品の生産拡大事業	(株)村井工機	—



▲スーパーインバーへの硬質クロムめっき



▲ 上：今回開発の月面通信機
下：従来の月面通信機
(ギガファーム(株))

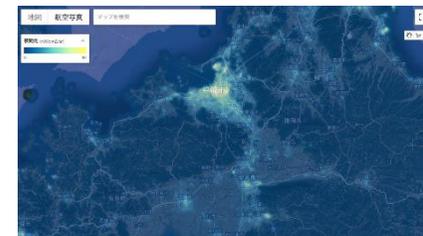
II 新製品・サービスの創出

① 製品開発支援

○ 衛星データを活用した革新的サービス開発支援事業

- 衛星データ利用ビジネスを牽引する成功事例の創出を促進するため、県内IT企業による衛星データを活用した革新的サービス開発に係る費用を助成
〔補助上限〕1,000万円 〔補助率〕1/2

採択テーマ	採択企業
衛星夜間光データから導出される経済活発度指標提供サービスの開発	(株)Penetrator



▲衛星夜間光データ

○ 宇宙日本食開発・認証支援事業

- 宇宙日本食開発に係る費用や、宇宙日本食認証に必要な検査試験費用を助成
〔補助上限〕150万円 〔補助率〕1/2

採択テーマ	採択企業
はかた地どりの宇宙食認定へのプロジェクト（お粥）	農事組合法人福栄組合
雑穀を使用した宇宙日本食「スペース雑穀米ぜんざい」の開発（ぜんざい）	ベストアメニティ株式会社
パイロットに優しいファイトケミカルを使用した商品開発（スープ）	学校法人中村学園
ツバメの巣を宇宙へ！（ゼリー飲料）	株式会社エムスタイルジャパン



▲スペース雑穀米ぜんざい
(ベストアメニティ(株))

Ⅱ 新製品・サービスの創出

② 宇宙日本食開発・認証アドバイザーの設置

- 専門家を県内食品関連企業に派遣し、煩雑な宇宙日本食認証に係る助言を実施



▲宇宙日本食開発・認証アドバイザー
(柿野 賢一 氏、浅野 高光 氏)

③ 県内宇宙ビジネスの実態調査

- 県内企業が取り組む宇宙関連ビジネスの現状や今後の見込み、宇宙関連ビジネスに対する意識などを把握するため、アンケートやヒアリング調査を実施

- ・ 参入済企業 : 51社(6.9%)
- ・ 参入意欲がある企業 : 189社(25.4%)

※ 調査対象:約3,000社 (有効回答744社)



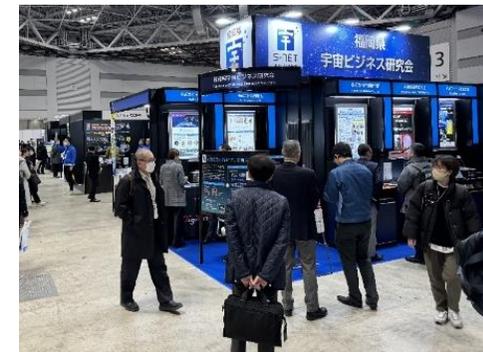
▲宇宙ビジネス実態調査
アンケート票

Ⅲ ビジネス拡大支援

① 大型展示会への出展

■ 首都圏での宇宙関連の展示会への会員企業の出展を支援

イベント名	開催期間	場所
NIHONBASHI SPACE WEEK2024	令和6年11月18日～22日	東京・日本橋エリア
2025国際航空宇宙産業展	令和7年1月29日～31日	東京ビッグサイト



▲2025国際航空宇宙産業展の様子

② 首都圏でのビジネスマッチングイベントの開催

■ 首都圏でのビジネスマッチングイベントの開催により、本県の宇宙ビジネスのポテンシャルや県内宇宙関連企業の優れた技術等をPR

イベント名	開催期間	登壇	場所
FUKUOKA SPACE TECH NIGHT in NIHONBASHI	令和6年11月21日	7社	X-NIHONBASHI BASE
2025国際航空宇宙産業展	令和7年1月30日	5社	東京ビッグサイト



▲ 県内企業によるプレゼンの様子

第3号議案 令和7年度事業計画(案)

福岡県半導体・デジタル産業振興会議講演会・交流会

- 日程：令和7年10月中旬(予定)
- 場所：福岡市内(予定)
- 内容：
 - ・福岡超集積半導体ソリューションセンター設立記念講演
 - ・パネルディスカッション
 - ・出席者による交流会 等

※詳細は後日改めてメルマガで御案内いたします。



▲ 昨年度の講演会・交流会の様子

半導体・デジタル産業の取組体系

I 地元企業のサプライチェーンの強化

(赤文字:令和7年度からの新たな取組・拡充した取組)

- ① 「福岡超集積半導体ソリューションセンター(仮称)」の開設
- ② インキュベーションルームの提供
- ③ 福岡県IoT認定制度
- ④ 半導体取引拡大アドバイザーの設置
- ⑤ 半導体参入セミナー・個別相談会の開催
- ⑥ 半導体後工程関連製品開発支援事業
- ⑦ 国内外の大型展示会への出展支援
- ⑧ 国際学会の誘致・関連イベントの開催

II 人材の育成・確保

- ① 「福岡半導体リスキリングセンター」における人材育成
- ② 大学と連携した半導体中核人材の育成
- ③ 「福岡テクノロジー人材創生塾」の実施
- ④ 「福岡県テックプログラム」の実施
- ⑤ 半導体後工程実習講座の開催

III 企業誘致の強化

- ① 企業誘致の促進
- ② 新たな産業団地の整備

次頁以降に、新たな取組・拡充した取組を中心に抜粋して記載

I 地元企業のサプライチェーンの強化

新たな取組

① 「福岡超集積半導体ソリューションセンター(仮称)」の開設 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

三次元半導体研究センター等を改組し、「福岡超集積半導体ソリューションセンター(仮称)」を今年8月に開設。

設計、試作から評価・解析及び実証までをワンストップで提供し、半導体後工程の先進技術(三次元積層、平面集積等)に特化して企業等の研究開発を支援。

三次元半導体研究センター

開設年月 2011年3月

特 色 半導体の実装分野で、設計から試作、評価・解析までを一貫して支援する国内唯一の公的機関。

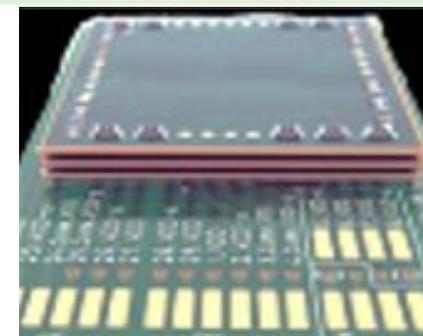
利用状況 全国の半導体材料メーカー等が利用。企業の実装技術の高度化を支援。
支援件数 約270社、延べ約4,400件



センター外観



設備等



試作品の例

I 地元企業のサプライチェーンの強化

新たな取組

① 「福岡超集積半導体ソリューションセンター(仮称)」の開設 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

■ 企業版ふるさと納税による最先端機器の導入

令和6年度から実施している企業版ふるさと納税の募集について、新たに金融機関等に成果報酬型で委託を行うことで、寄附の獲得拡大を目指す。

[令和7年度寄附目標額] 5億円



▲反応性イオンエッチング装置
(令和6年度寄附金により購入)

I 地元企業のサプライチェーンの強化

新たな取組

(赤文字:令和7年度からの新たな取組)

⑤ 半導体参入セミナー・個別相談会の開催

- 半導体産業への新規参入や新分野参入に興味がある企業を対象にしたセミナーを開催。最新のトピックや県内中小企業の取組を紹介。
- セミナー参加企業を対象に取引拡大アドバイザーによる個別相談会を開催。

⑥ 半導体後工程関連製品開発支援事業

- 県内企業の半導体後工程関連製品等に関する新製品開発等に必要な費用を助成
〔補助上限〕可能性試験:200万円、製品開発支援:750万円 〔補助率〕1/2

⑦ 国内外の大型展示会への出展支援

【出展予定】

イベント名	開催期間	場 所	出展予定数
セミコン台湾2025	令和7年9月10日～12日	TaiNEX(台北市)	12社・機関
第2回[九州]半導体産業展	令和7年10月8日～9日	マリンメッセ福岡	26社・機関
セミコンジャパン2025	令和7年12月17日～19日	東京ビッグサイト	8社・機関

I 地元企業のサプライチェーンの強化

拡充した取組

(赤文字: 令和7年度から拡充した取組)

⑧ 国際学会の誘致・関連イベントの開催

- 半導体の各種国際学会が福岡県で開催。国内外の研究者や企業が来福する機会を捉え、県内企業のブース出展や交流会等を実施。

【出展予定】

イベント名	開催期間	場所	分野
ISAPP	令和7年11月5日～7日	福岡国際会議場	先端パワーパッケージ
SWTest Asia	令和7年11月20日～21日	ヒルトン福岡シーホーク	ウエハテスト
AEC/APC Symposium Asia	令和7年11月25日～26日	福岡国際会議場	製造プロセス



▲SWTest Asiaでのイベント、ブース出展

Ⅱ 人材の育成・確保

新たな取組

⑤ 半導体後工程実習講座の開催 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- 福岡超集積半導体ソリューションセンター(仮称)の実機を活用し、後工程を体系的に学習できる実習講座を開設。



▲福岡超集積半導体ソリューションセンター(仮称)外観



▲センターの設備

デジタル産業の振興

【トピック】

宇宙ビジネス振興の取組について

宇宙ビジネスの取組体系

(赤字:令和7年度からの新たな取組)

I 啓発・参入促進

- ① 宇宙ビジネスプロモーターの設置

II 新製品・サービスの創出

- ① 製品・サービス開発支援
- ② 宇宙日本食開発・認証アドバイザーの設置
- ③ 県内宇宙ビジネスの実態調査

III ビジネス拡大支援

- ① 大型展示会への出展
- ② ビジネスマッチングイベントの開催
- ③ ネットワーク構築イベントの開催
- ④ アジア・太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)の誘致

次頁以降に、新たな取組・拡充した取組を中心に抜粋して記載

I 啓発・参入促進

新たな取組

① 宇宙ビジネスプロモーターの設置

- 宇宙ビジネスに精通した「福岡県宇宙ビジネスプロモーター」を設置し、JAXAとも連携しながら、伴走支援を行い、県内企業の新規参入やビジネス拡大を促す。

[支援内容] ・支援先企業の保有技術と業界動向を踏まえた参入提案
・求められる製品・サービス等を踏まえた製品開発の助言
・取引候補企業の紹介・開拓

II 新製品・サービスの創出

(赤字:令和7年度からの新たな取組)

新たな取組

① 製品・サービス開発支援

■ 幅広い分野における県内企業の新製品・サービスの開発を支援

(1)宇宙ビジネスに係る新製品・サービスの開発に向けた可能性試験を支援

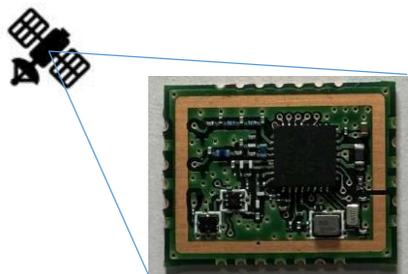
〔補助上限〕200万円 〔補助率〕1/2 〔予定件数〕3件

(2)宇宙ビジネスに係る新製品・サービスの開発、高性能化を支援

〔補助上限〕700万円 〔補助率〕1/2 〔予定件数〕3件

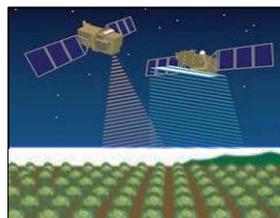
(3)宇宙日本食開発・認証にかかる費用を支援

〔補助上限〕150万円 〔補助率〕1/2 〔予定件数〕6件



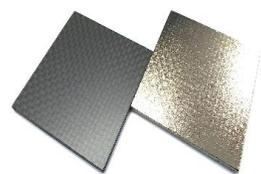
【R4年度採択】

衛星IoT通信モジュールの開発



【R5年度採択】

衛星データを活用した
農作物生産量予測モデルの構築



(左:めっき前、右:めっき後)

【R6年度採択】

ハイブリッド電磁波シールド
めっきの開発



【R6年度採択】

宇宙日本食開発・認証支援
はかた地どりともち麦のお粥

▲ 過去の宇宙関連補助金採択実績

Ⅲ ビジネス拡大支援

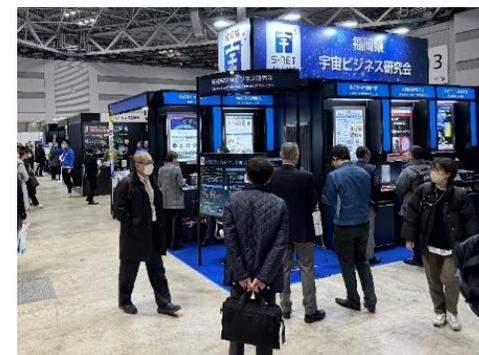
① 大型展示会への出展

(赤字:令和7年度からの新たな取組)

- 三大都市圏での宇宙関連の展示会について、県内企業の出展を支援。

【出展予定】

イベント名	開催期間	場所
NIHONBASHI SPACE WEEK 2025	令和7年10月28日 ～10月31日	X-NIHONBASHI BASE
スペース サプライヤーズ サミット名古屋2025	令和7年9月24日 ～9月26日	ポートメッセ名古屋



▲2025国際航空宇宙産業展の様子

② ビジネスマッチングイベントの開催

- 三大都市圏でのビジネスマッチングを展開し、県内企業の事業拡大を支援。

【イベント開催予定】

イベント名	開催日	場所
FUKUOKA SPACE TECH NIGHT in NIHONBASHI	令和7年10月28日 ～10月31日のうち1日	東京・日本橋 近郊
スペース サプライヤーズ サミット名古屋2025	令和7年9月25日	ポートメッセ 名古屋



▲昨年度のマッチングイベントの様子

Ⅲ ビジネス拡大支援

新たな取組

③ ネットワーク構築イベントの開催

- 従来の宇宙ビジネスフォーラムに代わり、宇宙の各分野をテーマにした「Fukuoka Space Business Meetup(仮)」を3回程度開催
 - ・ 宇宙ビジネスを熟知した実務家によるトークセッション
 - ・ JAXA職員や宇宙関連企業によるセミナーや個別相談会、交流会
- [会 場]ワン・フクオカ・ビルディング (CIC Fukuokaが入居)
- [参加者] 50名程度(県内企業、アカデミア、VC等)



▲ワン・フクオカ・ビルディング

④ アジア・太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)の誘致 (※振興会議予算とは別予算にて実施)

- 令和9年に開催される予定の第33回APRSAFの福岡開催を誘致
 - ・ アジア太平洋地域における宇宙利用促進を目的に1993年に設立
 - ・ 30を超える国・地域の宇宙機関、行政機関、国際機関、民間企業、大学・研究所が参加



産・学・官の連携で
福岡県を半導体・デジタル産業の拠点へ



参考資料

九州域内での産学官金連携プラットフォーム

九州半導体人材育成等コンソーシアム

【事務局】九州経済産業局

【構成】産学官金148機関

【主な活動内容】

- ・九州域内の大手企業と地場企業等とのマッチング等(チャレンジマーケット)
- ・効率的な物流網の構築 等

新生シリコンアイランド九州 情報連絡会

【事務局】九州経済連合会

【構成】九州各県、大学等

【主な活動内容】

新生シリコンアイランド九州の実現に向けた連携、情報共有 等

九州・沖縄地銀連携協定(Q-BASS)

【事務局】各銀行

【構成】九州・沖縄・山口の銀行13行

【主な活動内容】

- ・台湾企業との商談会開催
- ・台湾サプライチェーン参入支援プロジェクト

